新しい企画を取り入れたいです！

四季文化館企画実行委員

植木美子（うえきよしこ）さん

「企画実行委員の皆さんは一生懸命なので私も役に立ちたいです」と話す植木さん

師走に入り、今年も残りわずかとなりました。ポインセチアやシクラメンが似合う季節になりましたね。シクラメンは花の形がかがり火に似ているので和名を「かがり火花」と言うそうです。12月21日は冬至。この日に柚子湯に入ったりかぼちゃを食べたりして幸せを願う風習があるそうです。来年は幸せな年になるといいですね。今回は四季文化館企画実行委員会のメンバーで石岡市八郷地区に住いの植木美子さんを取材します。

今年の4月から企画実行委員会に入った植木さんにみの～れに関わるようになったきっかけを聞いてみると、「中央高校のPTA会長をやっていて、校長先生から『みの～れで企画実行委員になる人を探していて植木さんにぴったりだよ』と紹介されて・・石岡市の住民なのに小美玉の委員会に入っていいのか迷ったけど、面白そうだなと思って入りました。入ったのはいいけれど全くわからないんですよ！いきなり会議の議長をやったので、アドリブも何も入れられなくて書いてあるのをただ読んだだけですね（笑）。何かやろうと思うのですが『新しい案を』とか言われても何をどうしていいのか全くわからないですね。みんなすごく一生懸命やっているので私もその仲間に入りたいのですが、会話に参加することもできず、本当は参加したいんですよ。ただ黙って聞いているだけなんです」と話してくれました。

趣味を聞いてみると、「スポーツ観戦かな。バレーボールやプロ野球の試合観戦が好きです。息子がいるんですけど、サッカーをやっていたころ応援に行ってました。高校3年になる次女がバレーボールをやっていて、中学生のときバレー部がめちゃめちゃ強くて、神奈川や東京、千葉は当たり前・・土、日は茨城にはいないので子どもたちの試合の送迎で、お母さん達とちょっとした旅行気分でしたね。八郷地区からだと宇都宮での試合の時は40分くらいで行けるんですよ。高速道路を走るのも好きですね。一時間走るのなんて全然平気です」と笑顔で話してくれました。

仕事や得意なことをきいてみました。「以前、茨女（茨城県出身の女性を応援するフリーマガジン）に載ったことがあります。職場に取材の人が来て誰かいないかとなった時に会社から推薦されました。取材の次の年には、取手駅の中にスペースがあって、そこに勤務先の化粧品を並べて紫外線について講師を務めたことがあってすごく楽しかったです。それから・・私の作るきんぴらごぼうや、切り干し大根、ポテトサラダが美味しいと子ども達や姪っ子たちにも好評なんですよ」と植木さん。

「駐車場からみの～れの建物に向かって歩いてくる時に、目に入ってくる風景が好きですね。建物もおしゃれだし・・」そう話す植木さんは、羨ましいほどお肌がつるつるピカピカで、「仲間に入りたい・・そこからかな」と素敵な笑顔で話してくれました。

（藤田佐知子）

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life のすすめ

No.161